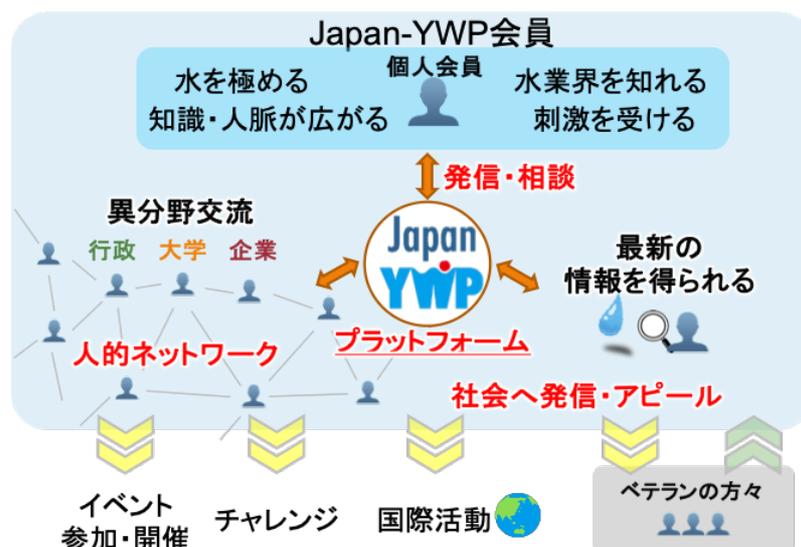
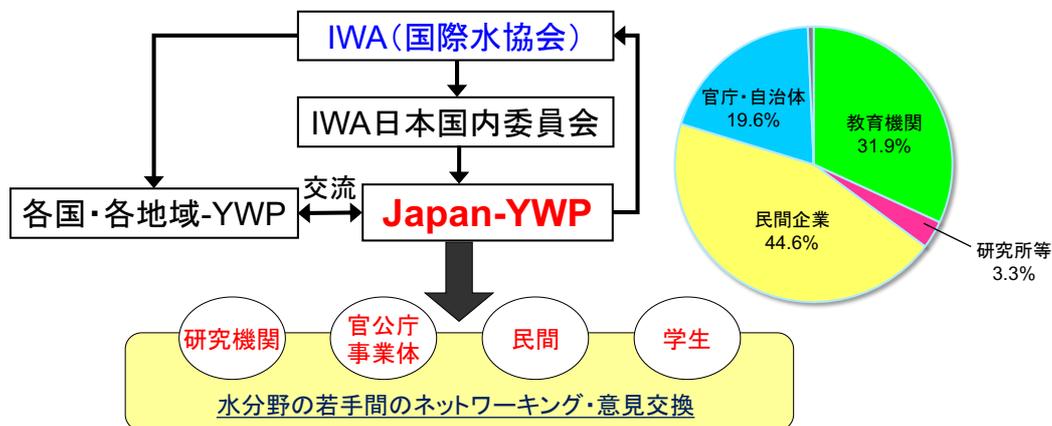


Japan-YWP 2022年度 総会

2023年4月7日

Japan-YWP 第7期代表 野村洋平

Japan-YWPは、IWA日本国内委員会の下部組織として2010年に設立され、水分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への積極的な貢献を目的に活動を行っている若手中心の組織である(図1)。2023年3月末時点における登録会員数は559名であり、教育機関、研究所、民間企業、官庁・自治体など様々な所属の方がJapan-YWP会員となっている。会員同士が産官学の垣根を越えて人的ネットワークを構築し、情報の発信と収集を行うプラットフォームをとなることを活動理念としている(図2)。



運営体制

組織やイベントの運営は24名の運営委員が取りまとめており、4名のアドバイザーの協力を受けて活動を行っている(表1)。

表1 運営体制

代表	野村洋平 (京都大学)
副代表	高田一輝 (三菱総合研究所) 長尾麻未 (NJS) 渡利高大 (長岡技術科学大学)
委員	石井淑大 (国土技術政策総合研究所) 大石若菜 (東北大学) 大野翔平 (水ingエンジニアリング) 神田峻 (水ingエンジニアリング) 北尾亮太 (ヴェオリア・ジェネッツ) 熊越瑛 (日本下水道事業団) 多田悠人 (京都大学) Yong Jie (京都大学、学生委員) 横井貴大 (京都市上下水道局) 荒井美帆 (西原環境) 蝶名林郁也 (日水コン) 秦裕弥 (日水コン) 瀬川奈未 (日水コン) 橋口亜由未 (島根大学) 林祥一 (オリジナル設計) 平片悠河 (産業技術総合研究所) 松永光司 (埼玉大学) 吉田健人 (日立製作所) 池田直生 (JFEエンジニアリング) 三輪徹 (長岡技術科学大学)
アドバイザー	阿部秀夫 (公益社団法人日本水道協会 研修国際部長) 片山浩之 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授) 堂蘭洋昭 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業調整官) 藤原 拓 (京都大学大学院地球環境学堂水環境保全論分野 教授)

活動の状況

2022年度のイベントを表2に示す。今期より他国のYWPとのネットワーク形成を進めており、Philippines-YWPとのワークショップやシンポジウムを通じて親交を深めている。その他、公益財団法人水道技術研究センター(JWRC)との合同企画として水道講座を行っている。

表2 2022年度の活動

時期	イベント内容 (形式/言語)
2022.7.2	Networking Project with Philippines-YWP and Japan-YWP~(オンライン/英語) Philippines-YWPよりEdward Bornilla氏が、Japan-YWPより野村・石井・長尾が登壇し、各国のYWP活動の紹介を行うとともに、Japan側からは水質改善の歴史を紹介した(UNICEF The Gambia 後藤翔太郎氏の協力を得て実施した)。
2022.7.8	「Japan-YWP International Symposium in WET2022-online ~Networking Project with Philippines-YWP and Japan-YWP~」(オンライン/英語) WET2022のプログラムの一部として、Philippines-YWPとの国際シンポジウムを実施 Philippines-YWPよりEdward Bornilla氏とMisael Camposano氏が、Japan-YWPより野村・渡利・長尾が登壇し、各国の水利用の状況や課題について意見交換するとともに、参加者全員で活発なディスカッションを行った(図3)。
2022.9.12	第17回JWRC水道講座 (オンライン/日本語) 自治体法務ネットワーク 森 幸二 氏、東京大学 加藤 裕之 氏による講演 Japan-YWPから多田と野村が開催協力
2022.11.14	下水道分野における官学連携促進に向けた試行的勉強会 国土交通省とJapan-YWPによる共催 Japan-YWPのアドバイザーである京都大学・藤原拓教授に基調講演をいただいた。 関西の自治体職員と大学教員による発表があり、官からみた学、学からみた官、それぞれが技術開発において困っていること、官-学の関係構築について率直な意見交換を行った。
2022.11.26	Networking Project with Philippines-YWP and Japan-YWP~(オンライン/英語) Philippines-YWPよりJilleane Bato氏が、Japan-YWPより長尾が登壇し、各国での下水汚泥処理の現状と利活用に関する意見交換を行った(図4)。
2022.12.16	第18回JWRC水道講座 (オンライン/日本語) 国立保健医療科学院 三好 太郎 氏、福山市立大学 清水 聡行 氏による講演 Japan-YWPから多田と野村が開催協力し、多田が司会進行を担当
2023.2.5	お仕事セミナー2022 (オンライン/日本語) 各運営委員が所属先での取組内容を紹介し、学生と対談
2023.3.16	ゆるっと水のことを語る会 with 中学生 ~新進気鋭の中学生が水業界に質問！~ (オンライン/日本語) 第57回日本水環境学会年会のプログラムの一部として実施 エスカルチャー(岸田 英 氏)との共催イベント 中学生による水質浄化試験の紹介がなされるとともに、Japan-YWPから野村・高田・橋口・神田・長尾が登壇し、中学生 vs. Japan-YWP運営委員で対談を行った。

レコーディング...

Who can join PYWP?

- Member of Philippine Waterworks Association (PWWA) and/or the International Water Association
 - Filipino citizen
 - Working in water or closely related field
 - Individual member, or a corporate member's nominee
- 35 years old and below



What are our members like?

Philippine Young Water Professionals (PYWP)

The Reservoir
- Advocate -
They have the passion, vision and drive to inspire others.

The Pump
- Amplifier -
They build up ideas, make them happen, and magnify impacts.

The Valve
- Connector -
They connect and collaborate within and outside the sector.

The Tap
- Expert -
They are willing to share their knowledge and learn from others.

Tan Shih-Wei...
Asami Nagao...
Yoshihiro Ishii



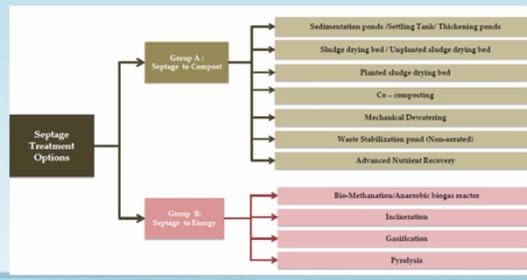
Anna
Porley, Karl Ang...

図3 Philippines-YWPとの国際シンポジウム

高 大
Takashi Watarai (Na...
Edward Borrilla
Jilleana Bato
Shotaro Goto
Japan YWP
Ayumi Hashiguchi

Recording

7. FULL COST RECOVERY OTHER AVAILABLE TREATMENT



Septage Treatment Options

- Group A: Septage to Compost
 - Sedimentation ponds (Settling Tank) Thickening ponds
 - Sludge drying bed / Unplanted sludge drying bed
 - Planted sludge drying bed
 - Co-composting
 - Mechanical Dewatering
 - Waste Stabilization pond (Non-aerated)
 - Advanced Nutrient Recovery
- Group B: Septage to Energy
 - Bio-Methanation/Anaerobic biogas reactor
 - Incineration
 - Gasification
 - Pyrolysis

図4 Philippines-YWPとのワークショップ

Japan-YWP活動費 経理報告

2022年度の経理状況を表3に示す。収入は利息を表す。運営費はホームページの維持管理費やメールリストの利用料が含まれる。会議・イベント開催費にはZOOMの利用料が含まれる。旅費は、イベント開催に係る交通費を表す。雑費は、振込手数料や切手代を表す。

表3 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の経理状況

収入	
前年度繰越	¥2,147,429
収入	¥22
合計	¥2,147,451

支出	
運営費	¥65,472
会議・イベント開催費	¥22,334
旅費	¥53,280
備品購入費	¥0
雑費	¥704
合計	¥141,790

資金残高の推移	
移管資金 期首残高	¥2,147,451
次期繰越 活動増減差額	¥141,790
移管資金 期末残高	¥2,005,661